

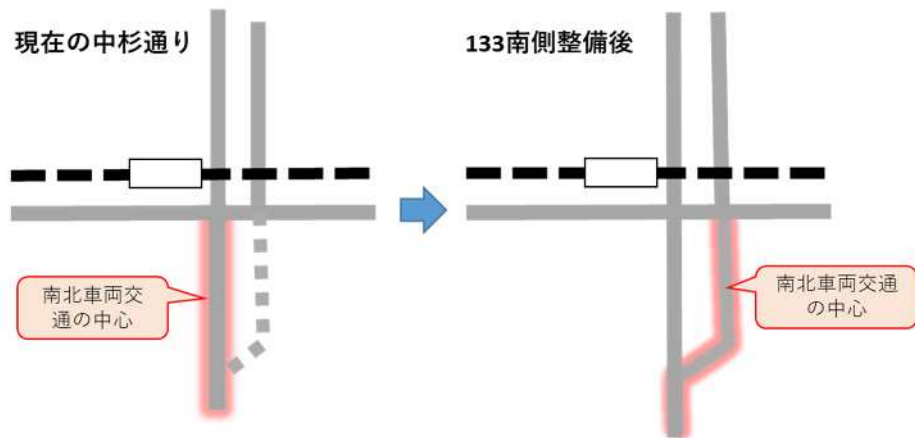
千川通り南側中杉通りについて

現状

- ・幅員が、千川通りとの交差点付近は幅員約11m、それ以南は約7m程度である。
- ・南方向への多くのバス(平日は227本)のルートとなっている。
- ・車両、歩行者ともに多く、歩車分離していないため歩行者に危険な状況である。
- ・商店街では生鮮三品などを扱う店舗が減少し、日常的な買い物をする人の流れがなくなっている。

今後想定される変化

- ・補助133号線が整備されると、南北の自動車交通の中心は中杉通りから補助133号線に移行することが想定される。

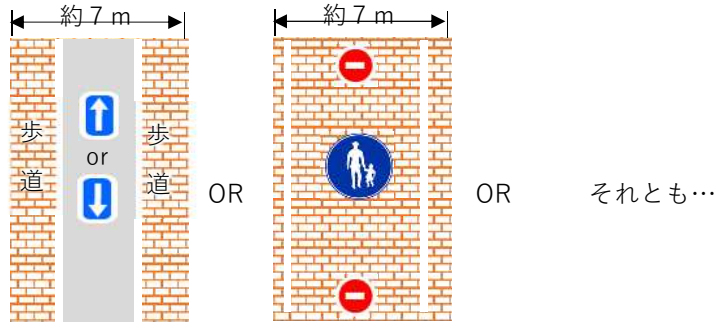


自動車交通の減少を見据えた中杉通りのあり方や、賑わい創出の方針について検討する。

どんな道路を目指すか

道路の形状や交通規制などの例

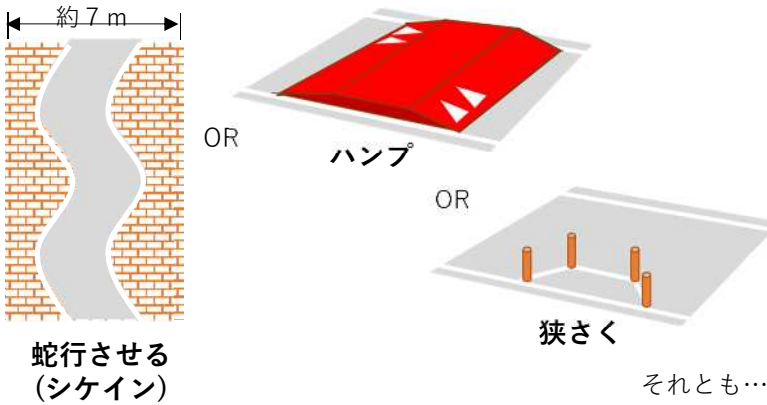
歩道、車道のあり方



南北いずれかの方向に一方通行化し、歩道を設ける。

車両通行を禁止する。
※時間帯規制や通行許可証発行など、居住者や搬入車は通行できるルールが必要

速度抑制の構造



現状



歩行者が安全に通行できる道路



路上を活用した賑わいが生まれる道路

参考写真



時間帯で車両の通行を規制した商店街の例



居住者のみに通行を許可し、車両通行止めとした例



速度抑制のためスラロームにした例



速度抑制のためクランクにした例



速度抑制のためにハンプを設置した例



速度抑制のために狭さを設置した例



歩行者が安全に通行できる道路の例(阿佐ヶ谷、すずらん商店街)



歩行者が安全に通行できる道路の例(横浜、伊勢佐木町商店街)



狭い道路を通行止めにしてイベントを実施した例（京都市三条通「三条通で遊んでみよし」）



狭い道路を通行止めにしてイベントを実施した例（横浜市関内「関内テラス」）